



## 言葉の大切さを再確認

2学期も始まり1ヶ月余りが経過しました。朝晩は涼しくなり、すっかり秋の気配が感じられるようになりました。また、最近では発熱等で欠席する子供たちも増えてきました。寒暖差が大きく体調を整えるのも大変ですが、今後も多くの取り組みがあるので、体調管理についても改めてお願いします。

さて、2学期は全校で普段の生活について、改めて整えていこうと全職員で確認し、子供たちと一緒に取り組んでいます。特に、年度当初の児童会から提案のあった、廊下の右側を歩くことや、授業中での友達の呼称の仕方や生活全体での言葉遣いについてです。昔から「口は災いの元」や「物も言いようで角が立つ」など言葉遣いに関わる内容のことわざが多くあります。人がコミュニケーションをとる一番簡単な方法は言葉（話）です。間違った使い方をしたり、いい加減にしたりすると、良好な人間関係が築けないだけでなく、相手に不快な思いをさせることがあります。人と人との出会いで一番最初に気づくのは、目から入ってくる情報と耳から入ってくる情報です。人との出会いで第一印象はとても大切です。第一印象がその後の関わりに大きく影響を及ぼすこともあります。人は基本的に友好的な関係を望んでいます。好き好んで問題を起こしたり敵対したりすることはないはずです。しかし、心ない言葉遣いや、お互いに敬意を持った話し方ができずにトラブルになることがあります。もちろん私たち大人も、子供たちに敬意を持つことは大切です。また、歩行者が右側を歩くことは交通ルールとして一般的なことです。学校は一般の道路に比べ、廊下の幅が狭く死角や見えにくい場所がとても多くあります。どこでも同じルールで生活することが、子供たちが安心して生活できる基本だと思います。学校ではこれからも、学校生活を整えるための取り組みを行い、全校の子供たちが過ごしやすい環境を一緒に考えていきたいと思っています。各御家庭においても、生活全般に気を配っていただき声をかけていただきたいと思っています。よろしくをお願いします。

## 大きな成長の糧に！

今月は5年生、6年生共に宿泊学習があります。小学校の課程において泊を伴う行事は、子供たちにとって楽しみでもあり不安でもあります。「同じ釜の飯を食う」ということわざがありますが、そこで築かれる絆や信頼関係は、普段の生活では得られない大切なものになります。また、学校や親から離れ広大な自然や、歴史、実物を見聞きすることで感受性が豊かになったり、新たな発見があったりします。5年生は10月2日・3日と林間学校へ行ってきます。昨年度から甲西地区3校合同での林間学校になります。今から交流を深め、2年後の甲西中学校と一緒に学ぶための取り組みとして準備を進めています。中一ギャップ解消の一助となることを期待しています。また、6年生は10月22日～24日まで修学旅行に行ってきます。神奈川、東京の各地を巡り、見識を深めてきます。昨年度から少しずつ準備を始め、見学地の選定や企画準備段階から子供たちが参画してきました。5年英も6年生も大きな成長に期待しています。